

2022年度（令和4年度）

第2回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第61回日本臨床細胞学会秋期大会

2022年11月4日（金） 13:00~15:00 現地 & Web 会議

場所：仙台サンプラザホテル 3F クリスタルルーム

I. 開会	p 2
II. 会長あいさつ	p 2
III. 議事録確認	p 2
IV. 報告事項	
1. 各委員会活動報告	p 2
V. 議案	
1号議案：2023年度事業計画及びこれに伴う予算書	p 8
2号議案：会計に関する運用細則の変更	p 13
3号議案：公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則の変更	p 14
4号議案：その他	p 14
VI. 確認・検討事項	
1. その他	p 15
VII. その他	p 15
VIII. 資料	
【資料1】確認：2022年度第1回細胞検査士会役員会議事録	p 16
【資料2】確認：2022年度細胞検査士会定時総会議事録	p 20
【資料3】報告：選挙管理委員会からのお知らせ（選挙人：投票者）	p 22
【資料4】報告：選挙管理委員会からのお知らせ（役員：幹事）	p 23
IX. 閉会	

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 議事録の確認

2022 年度第 1 回細胞検査士会役員会議事録

【資料 1】 p 16

2022 年度細胞検査士会定時総会議事録

【資料 2】 p 21

IV. 報告事項

1. 各委員会活動報告

1. 総務委員会

- 1) 2022 年度第 1 回細胞検査士会役員会議案書作成
- 2) 2022 年度第 2 回細胞検査士会役員会議案書作成
- 3) 2022 年度細胞検査士会定時総会議案書作成
- 4) 2023 年度事業計画及びこれに伴う予算書の作成

2. 経理委員会

- 1) 2021 年度細胞検査士会会計報告
- 2) 2022 年度細胞検査士会予算報告
- 3) 2023 年度細胞検査士会予算案作成
- 4) 2022 年度細胞検査士会収支計算書作成予定
- 5) 2022 年度細胞検査士会監査会開催予定
2023 年 3 月末日 日本臨床細胞学会事務局

3. 庶務委員会

1) 物故会員

山田哲司 (ヤマダテツジ) 殿	CT 3435
森川彰子 (モリカワアキコ) 殿	CT 3496
佐藤加代子 (サトウカヨコ) 殿	CT 4116
浦川将一 (ウラカワショウイチ) 殿	CT 4920
大井賀広 (オオイヨシヒロ) 殿	CT 6477

2) 議事録案作成 (2022 年度第 1 回細胞検査士役員会及び細胞検査士会定時総会)

3) 委嘱状等, 細胞検査士会発行番号・公印付文書の発行 (第 22-0001~第 22-0064)

4. 規約委員会

- 1) 新規則である「2023-2024 年度役員選挙実施要綱」, 「情報委員会内規: Web 会議開催運営について」を管理し, HP への掲載を依頼した。

5. 渉外委員会

- 1) 子宮の日の活動: 2022 Love49プロジェクト 参加は43都道府県 (92%), 細胞検査士会提供

グッズのポケットティッシュ5万個を全国の都道府県へ配送。コロナ禍のため昨年と同様、多くの地域で街頭活動は中止となり、女性が多く集まる施設・学校などで配布することが主な活動となった。

2) 2021年度（令和3年度）細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会活動と育成・養成活動）
調査期間：2022年8月～9月（回答率100%：47都道府県）

① 啓発・社会活動の報告

2021 Love49 キャンペーン実施都道府県数：46都道府県（98%）、総イベント数：57、イベント参加者数：延べ841名（細胞検査士566名、臨床検査技師66名、医師42名、その他167名）

② 育成・養成活動の報告

開催数：123（複数開催した都道府県あり）、参加者数：延べ6,420名（細胞検査士4,18名、臨床検査技師1,749名、医師387名、その他103名）

③ 子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート（抜粋）

細胞学会に2022年度（令和4年度）分の子宮頸がん検診推進活動費を申請したか否か。
申請した：39都道府県、申請しなかった：8県。

3) 第9回子宮の日全国アクション-2022報告会

第63回日本臨床細胞学会総会（東京：2022年6月11日現地開催、Web開催あり）において2022報告会を実施し、4演題を報告。

座長：三宅真司（渉外委員会）、田路英作（がん検診委員会）

演者：松本光司（昭和大学産婦人科）

小西宏（日本対がん協会がん検診研究グループ）

永野友佳里（東京都がん検診センター検査科細胞診）

高田直樹（加古川総合保健センター）

4) 第63回日本臨床細胞学会総会において、計画していたLOVE49キャンペーンパネル展示を行った。

5) 第18回がん患者大集会への参加予定

テーマ：「がん患者が望む理想の在宅医療とは」

日時：2022年11月20（日）、13時～16時30分

会場：東京医科歯科大学（現地開催：人数制限あり+オンライン配信）

6) 2023 Love49プロジェクトの準備（2022年12月～2023年3月）

① 2023 Love49キャンペーンの趣意書を阿部会長へ要望し、庶務委員会から発行

② 2023Love49への参加希望を12月から行う予定

③ 2023年4月9日前後に、特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に、子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備

7) 第10回子宮の日全国アクション-2023報告会の準備

第64回日本臨床細胞学会総会（名古屋）において、2023報告会開催の準備

6. 編集委員会

会報70号・71号を発行（企画、執筆依頼と原稿収集、編集作業と印刷依頼等）
会報72号発行に向け作業中

7. 学術委員会

1) 第61回日本臨床細胞学会秋期大会

細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画および演者・座長の決定
テーマ『細胞診断の精度管理』

2) 第82回細胞検査士教育セミナー

セルフアセスメントを精度保証委員会と共同で企画実行した。

3) 第64回日本臨床細胞学会総会に向けた細胞検査士会要望教育シンポジウムの企画

4) 2022年度細胞検査士会鏡検実習研修会（実践コース）：現地開催

（2023年2月11,12日に、帝京大学医学部において、1日50名（2日間で100名）の限定で、講義ならびに鏡検実習を開催予定。2023年1月初頭に細胞検査士会HPならびに都道府県代表者委員会経由で、各県に募集案内を行う予定）

8. 国際委員会

- ・2022年11月15日-11月20日、米国 Baltimore にて 21st International Congress of Cytology が開催予定である（現地開催のみ）。日・台・韓3か国の細胞検査士会合同企画として、以下のシンポジウムを企画し、採択された。

‘Comparison of Educational System for Cytotechnologist among three countries: Japan, South Korea and Taiwan’ Supported by Japan Society of Cytotechnologist (JSC), Korean Association of Cytotechnologists (KACT) and Taiwan Society of Clinical Cytology (TSCC)

しかしながら、台湾・韓国両国演者が、自国での COVID-19 感染拡大の影響により渡米不可能との結論に至り、日本の演者のみで現地発表を行うこととなった。なお、日本の演者は当初予定していた宮本朋幸先生（九州保健福祉大学）から、渡米可能な森康浩先生（倉敷芸術科学大学）に変更となった。また、本シンポジウムは、次回台湾で開催予定の Joint Meeting 時に実施することを3か国担当者と確認している。

- ・令和5年（2023年）3月、台湾にて日・台・韓3か国の細胞検査士による Joint Meeting を開催すべく各国担当者と協議していたが、各国の COVID-19 感染状況が異なり、さらに未だ台湾での渡航制限が全面解除になっておらず、台湾での現地開催は断念することになった。また、Webを用いた virtual convention 方式にて開催することも検討したが、各国での使用アプリケーションが異なることや技術構築にかかる費用負担についての足並みが揃わず、令和6年（2024年）3月台湾での現地開催を目指すことで合意した。

9. 情報委員会

- 1) 細胞検査士求人情報 新掲載 46 件
- 2) 新着情報の掲載について

2022 年度細胞検査士会定時総会議案書掲載のご案内

第 82 回細胞検査士教育セミナーWeb 申込開始について

役員選挙実施に関するお知らせ

令和 4 年度細胞検査士会 Web 研修会（細胞検査士養成コース）

第 84 回細胞検査士ワークショップ 【ハイブリッド開催】

令和 4 年度細胞検査士会鏡検実習（細胞検査士養成コース）

役員選挙実施に関するお知らせ（更新）

選挙協力のお願い 2022

選管からのお知らせ<1>選挙人数

選挙人(投票者)登用紙 2022

役員候補者登録入力要領 2022

3) 会員専用 HP 掲載について

2022 年度細胞検査士会定期総会議案書掲載（会員専用 HP）

2023-2024 年度役員選挙実施に関するファイル

2022-2023 役員選挙実施要綱（対照表）

パスワードの変更について

8 月 31 日まで jsc2020 → 9 月 1 日より jsc2022

4) HP における資料および内容の更新について

細胞検査士って何？ 更新

細胞検査士とは 更新

細胞検査士への道 更新

国際細胞検査士とは 更新

細胞診標本作製マニュアル「呼吸器」第 2 版 2012 年の更新入替

研修会単位申請の手続き変更のお知らせ【重要】最新への更新

English ページ更新（更新内容）

Message from the president of Japanese Society of Cytothechnologists

Address of headquarter

History and Past Presidents

EDUDCATIONAL SYSTEM

Internet affairs

細胞検査士会ホームページガイドライン掲載申込書更新

5) メーリングリストの更新について 9 件の更新

新旧都道府県代表者変更による変更

役員メール変更に伴う変更

6) 学会・支部・連合会へのリンク URL 更新掲載について

東京都細胞検査士会会則の最新版・会員数の更新

福岡県細胞検査士会 HP の URL 更新

都道府県細胞検査士会 HP リンク 代表者 14 県更新

7) LOVE49 キャンペーン活動掲載

2021 LOVE49 キャンペーン (20 都道府県について) PDF 掲載

コロナ禍での啓発活動 沖縄県細胞検査士会 PDF 掲載

8) Web 会議の開設 7 月 30 日会長インタビューZoom

10. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

1) 2022 年度都道府県代表者名簿, 連絡網の作成

2) 都道府県代表者会議定期連絡メール配信と臨時連絡

3) 2022 年度第 1 回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

11. あり方委員会

以下を検討し, 細胞検査士会報にて報告予定

① 会員資格についてのアンケート結果

② 準会員から正会員への会員資格変更手順について

③ 細胞学会に正会員と準会員ができた経緯につて

④ 正会員と準会員のメリットデメリットについて

12. 精度保証委員会

1) 第 82 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメントスライドの問題作製会議
2022 年 5 月 28 日 (土): Web 会議 (学術委員会と連携)

2) 令和 4 年度 細胞検査士会 鏡検実習 (細胞検査士養成コース) 実習標本の選定会議
2022 年 8 月 20 日 (金): 実習標本の選定会議 (癌研有明病院)

3) 令和 4 年度 細胞検査士会 Web 研修会 (細胞検査士養成コース)
2022 年 8 月 21 日 (日): Web 開催 参加登録者数 297 人

4) 第 82 回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメントスライド解説
2022 年 8 月 22 日 (月) ~9 月 5 日 (月): Web 開催 (学術委員会と連携)

5) 令和 4 年度 細胞検査士会 鏡検実習 (細胞検査士養成コース)
2022 年 9 月 10 日 (土) ~11 日 (日): 鏡検実習 (帝京大学) 参加者 2 日間で 57 人
2022 年 10 月 1 日 (土) ~2 日 (日): 鏡検実習 (神戸大学) 参加者 2 日間で 58 人

13. がん検診委員会

1) 第 9 回 子宮の日全国アクション-2022 報告会

第 63 回日本臨床細胞学会総会春期大会(東京: 2022 年 6 月 11 日)

座長: 三宅真司 (渉外委員会), 田路英作 (がん検診委員会)

演者: 松本光司 (昭和大学産婦人科)

小西宏 (日本対がん協会がん検診研究グループ)

永野友佳里 (東京都がん検診センター検査科細胞診)

高田直樹 (加古川総合保健センター)

2) 第 60 回日本臨床細胞学会秋期大会(米子：21 年 11 月 20 日)

細胞検査士緊急アンケート報告会にて「コロナ禍における細胞診業務実態調査報告」を発表

14. 2023-2024 年度役員選挙管理委員会

【資料 1】 p16

1) 構成員

委員長 古谷津 純一 (新渡戸文化短期大学)

委員 佐渡 正敏 (旭川医科大学病院：北海道地区)

二瓶 憲俊 (竹田総合病院：東北地区)

中島 弘一 (千葉細胞病理検査センター：関東・甲信越地区)

中島 研 (国家公務員共済組合連合会立川病院：東京地区)

米田 操 (鈴鹿医療科学大学：中部・東海地区)

林 裕司 (滋賀医科大学医学部附属病院：近畿地区)

石田 克成 (広島大学病院：中国・四国地区)

田中 小夜 (小倉記念病院：九州地区)

新垣 善孝 (沖縄県立中部病院：沖縄地区)

2) 選挙人登録

選挙人(投票者) 257 名を各都道府県に配分し、246 名が登録された。

栃木県(5名)、岐阜県(3名)、香川県(3名)の計 11 名の登録申請はなかった。

3) 役員選挙

役員(幹事)候補者申請は 29 名であり、全員を登録した。

2021-2022 年度役員選挙実施要綱による選出定数は 30-40 名であり、選挙管理委員会で協議の結果、登録した役員(幹事)候補者全員を無投票当選とした。

4) 新たに選出された幹事の中より選挙人による会長及び副会長の選出を 2023 年 2 月までに実施する予定である。

V. 議案

1号議案：2023年度事業計画及びこれに伴う予算書

2022年11月

細胞検査士会

2023年度事業計画及びこれに伴う予算書

公益社団法人日本臨床細胞学会
細胞検査士会会長 阿部 仁

1. 2023 年度細胞検査士会事業計画

1) 本部

【目的】会員の細胞学的知識の向上と技術の研鑽，ならびに公益社団法人日本臨床細胞学会事業に協力し，細胞検査士の社会的地位の確立により社会への貢献を図る。

【予定・計画】

- ① 各委員会事業の計画，実施，進捗の管理
- ② 各委員会事業の結果を会員へ報告
- ③ 公益社団法人日本臨床細胞学会の動向を会員へ報告
- ④ 総会の開催（1回/年以上）
- ⑤ 役員会の開催（2回/年以上）
- ⑥ 委員長会議の開催（1回/年以上）
- ⑦ 日台韓細胞検査士合同セミナー開催（協力）

【会の公益活動について】

- ① 『子宮の日』の活動をはじめとする会の公益活動において，その活動内容を公益社団法人日本臨床細胞学会に報告し理解を求める。

【公益社団法人日本臨床細胞学会事業への協力】

- ① 各種委員会会務
- ② 細胞検査士教育セミナー開催
- ③ 細胞検査士ワークショップ開催
- ④ 学術集会開催
- ⑤ 細胞検査士資格認定試験
- ⑥ 細胞検査士養成事業

2) 総務委員会

委員会業務分担要綱に基づき，当会の円滑な運営に努める。

- ① 事業報告・決算書の作成と管理
「2022 年度事業報告及びこれに伴う決算書」を作成し，6 月に役員会議案提出
- ② 事業計画・予算書の作成と管理
「2024 年度事業計画及びこれに伴う予算書」を作成し，11 月に役員会議案提出
- ③ 総会，役員会，委員長会議の議案書作成と管理
定時総会（6 月），第 1 回役員会（6 月），第 2 回役員会（11 月）
委員長会議（2023 年度）の議案書作成と配信
- ④ 各委員会間の情報伝達と業務調整
- ⑤ その他，他の委員会などが所掌せず，役員会が必要と認めた事項

3) 経理委員会（本会の会計管理を担当）

- ① 細胞検査士会予算・事業計画の作成
- ② 細胞検査士会決算・事業報告の作成
- ③ 各委員会の出納の確認・学会への報告
- ④ 監査会の開催
- ⑤ 役員会・総会での予算・決算の報告

4) 庶務委員会

- ① 総会，役員会の開催通知及び議事録作成と管理
- ② 委員長会議の開催通知及び会議の記録作成と管理
- ③ 印鑑類の管理

- ④ 当会の事業、活動記録などに必要な文書類の発行と管理
- ⑤ 会員の慶弔に関すること
- ⑥ 本会会員種別の把握

5) 規約委員会

- ① 関係委員会とともに、規則類の見直し・検討を行い、必要に応じて総会、役員会の議案として提出する。
- ② 総会、役員会の決議によって、制定、変更された規則類（施行細則、細則、運用細則、要綱）を管理し、情報委員会と連携して細胞検査士会 HP に掲載する。
- ③ 役員会で確認・検討された規則類（各委員会の内規など）を関係委員会とともに管理する。
- ④ 対面式の会議を開催する。

6) 渉外委員会

- ① 子宮の日の活動：2023 Love49 全国プロジェクト
- ② 2022 年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会事業と育成・養成事業）
- ③ 子宮の日全国アクション-2023 報告会（日本臨床細胞学会総会：名古屋）
- ④ 日本臨床細胞学会総会および秋期大会におけるパネル展示
- ⑤ がん患者大集会の会場協力
- ⑥ 細胞検査士会ホームページへの Love49 活動関連ページへの内容追加
- ⑦ リフレット「がん診断の担い手」第 4 版作成の継続
- ⑧ がん検診委員会
コロナ禍における細胞診業務実態調査集計
有効性評価に基づく子宮頸がん検診ガイドライン検証の継続
国外における子宮頸がん検診 HPV 検査単独法導入時のトリアージ方法に関する調査

7) 編集委員会

- ① 会報 73号、74号の企画・原稿の編集・会員への会報発送

8) 学術委員会

- ① 細胞学会時の細胞検査士要望教育シンポジウムの企画（演者・座長の選出）
- ② 細胞学会時の『わからん会』の企画・支援
- ③ ヤングコミッティーワークショップの新規計画および支援
- ④ 細胞検査士教育セミナーの実施協力、企画およびセルフアセスメント作製（精度保証委員会と連携）
- ⑤ 細胞検査士会鏡検実習研修会（実践コース）の開催（2回/年）

9) 国際委員会

- ① 国際的な学会・セミナー等の把握と情報伝達
臨床細胞学の国際的な行事の把握に努め、細胞検査士会 HP を通じ会員への情報伝達を行っていく。The 44th European Congress of Cytology (ECC)が Budapest にて 2023 年 10 月 1 日～10 月 4 日の日程で開催予定である。

② 国際的な諸団体との交流に関する事業

令和6年(2024年)3月に日・台・韓3か国の細胞検査士による Joint Meeting を台湾にて開催する計画を進めているが、各国の感染状況および渡航制限の変動も未だ大きいため、具体的な開催日程や開催都市を含め開催概要は未定である。各国の社会状況を含めて、3か国代表者と連絡を取り合っており、詳細が決まり次第HPなどを通じてご案内申し上げます。

10) 情報委員会

- ① ctjsc.com (細胞検査士会HP) CMS システム保守・更新・運用
- ② 委員長 ML 及び役員会および都道府県代表者 ML へ毎月の更新内容を報告
- ③ 委員長、役員会及び都道府県代表者会議メーリングリストの管理
- ④ Intercyto.com (インターネットサイトロジーHP) CMS システムの構築
- ⑤ 都道府県細胞検査士会および各県臨床細胞学会へのリンク整備
- ⑥ 細胞検査士会HPの英語ページの整備
- ⑦ Web 会議システムを利用した会議 URL 発行

11) 都道府県代表者委員会

- ① 2023年度第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ② 2023年度第1回細胞検査士会都道府県代表者委員会
- ③ 2023年度第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- ④ 2023年度第2回細胞検査士会都道府県代表者委員会

12) あり方委員会

- ① 細胞検査士の役割と責任、方向性について検討
- ② 細胞診専門医との連携に関することの検討
- ③ 細胞診及び細胞検査士に関する調査・研究事業
- ④ 細胞検査士資格更新に関する方向性に関する検討(細胞検査士カードの必要性)

13) 精度保証委員会

- ① 細胞検査士教育セミナー、セルフアセスメント実施(学術委員会と精度保証委員会との連携事業)
- ② 細胞検査士会 鏡検実習研修会(細胞検査士養成コース)(関東・関西)の実施
- ③ 細胞診標本作製マニュアル(体腔液・呼吸器・泌尿器)改訂版の作製

2. 2023 年度細胞検査士会予算案

公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士会 2023年度 予算案

細胞検査士会

繰越金内訳

収入の部

科目	金額	備考
参加費	2,900,000	学術委員会：細胞検査士会鏡検実習研修会（実践コース） 50人×9,000円×2回 合計 90万円 精度保障委員会：鏡検実習研修会（細胞検査士養成コース） 東日本・西日本/参加費10,000円 募集人員 合計200名 合計200万円
入会金、 年会費口座より	2,100,000 4,856,540	第55回CT合格者予測の入会金と年会費 繰越金から（更新者年会費相当）
郵送料、集金事務費	150,000	メディックプランニングオフィス社(賠償保険)
収入合計	10,006,540	

銀行預金	31,178,507		
記念事業	4,788,501		
郵便振替	12,470,960		
検査士会WS	1,283,350		
現金	191,764		
合計	49,913,082		
入会金	2,000円	年会費	1,000円
入会・更新時に5年分先払	1,000円×5年分	5,000円	
第55回CT合格者予測300名の入会金と年会費			
300名×2,000円+300名×5,000円			

支出の部

委 員会	管 理 費											事業費		合計
	本部	総務	情報	経理	庶務	編集	渉外	都道府 県代表	規約	国際	あり方	精度保証	学術	
通信運搬費	5,000	40,000	313,500	40,000	10,000	1,410,000	220,000	1,040	-	5,000	30,000	20,000	10,000	2,104,540
旅費交通費	310,000	140,000	-	140,000	-	50,000	20,000	-	-	20,000	-	600,000	200,000	1,480,000
印刷製本費	-	-	-	-	-	1,600,000	1,050,000	-	-	100,000	-	630,000	180,000	3,560,000
消耗品費	20,000	20,000	-	20,000	5,000	50,000	40,000	-	-	5,000	20,000	3,000	10,000	193,000
消耗什器備品費	-	-	-	-	10,000	100,000	-	-	-	-	-	25,000	-	135,000
臨時雇賃金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	70,000	60,000	130,000
会議費	100,000	44,000	-	44,000	-	-	50,000	94,000	20,000	20,000	20,000	120,000	30,000	542,000
会場費	300,000	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	90,000	100,000	490,000
委託費	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20,000	-	-	-	20,000
交際接待費	50,000	-	-	-	10,000	-	-	-	-	10,000	-	-	-	70,000
諸謝金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	400,000	300,000	700,000
雑費	520,000	-	5,000	-	5,000	-	-	-	-	-	-	42,000	10,000	582,000
合計	1,305,000	244,000	318,500	244,000	40,000	3,210,000	1,380,000	95,040	20,000	180,000	70,000	2,000,000	900,000	10,006,540

支出合計	10,006,540
------	------------

以上の通り、2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）の細胞検査士会予算を計上します。

2022年10月31日 細胞検査士会 会計担当 仲村 武

同 会長 阿部 仁

2号議案：会計に関する運用細則の変更

会計に関する運用細則の変更 変更案 対照表

変更前	変更後
<p>第 2 条(事業計画・予算書)</p> <p>1.事業計画・予算書は毎会計年度開始前の 2 月末までに役員会で承認し、本法人理事会承認後、会計年度開始より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p> <p>2.会長は、事業計画・予算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業計画・予算案の提出を受け、事業計画・予算書を作成することができる。</p>	<p>第 2 条(事業計画・予算書)</p> <p>1.事業計画・予算書は毎会計年度開始前に役員会及び本法人理事会承認後、会計年度開始より 3 カ月以内に定時細胞検査士会総会で報告する。</p> <p>2.会長は、事業計画・予算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業計画・予算案の提出を受け、事業計画・予算書を作成することができる。</p>
<p>第 3 条(事業報告・収支決算書)</p> <p>1.事業報告・収支決算書は、毎年 4 月に監査し、役員会で承認後、本法人理事会で承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p> <p>2.会長は、事業報告・収支決算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業報告・収支決算案の提出を受け、事業報告・収支決算書を作成することができる。</p>	<p>第 3 条(事業報告・収支決算書)</p> <p>1.事業報告・収支決算書は、毎会計年度終了後、監事の監査を受けた上で本法人理事会で承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に役員会で承認後及び定時細胞検査士会総会で報告する。</p> <p>2.会長は、事業報告・収支決算書の作成を総務委員長、経理委員長に命じて行わせることができる。</p> <p>3.総務委員長、経理委員長は各委員長から委員会の事業報告・収支決算案の提出を受け、事業報告・収支決算書を作成することができる。</p>

3号議案：公益社団法人日本臨床細胞学会 細胞検査士に関する施行細則の変更

細胞検査士に関する施行細則の変更 変更案 対照表

変更前	変更後
<p>第4章 会 議 (細胞検査士会総会)</p> <p>第 11 条 この会は、毎年 1 回の定時細胞検査士会総会のほか、必要に応じて臨時細胞検査士会総会を開催することができる。細胞検査士会総会は、すべての会員により構成され、会長がこれを招集し、議決は出席会員の過半数により成立する。</p>	<p>第4章 会 議 (細胞検査士会総会)</p> <p>第 11 条 この会は、毎年 1 回の定時細胞検査士会総会のほか、必要に応じて臨時細胞検査士会総会を開催することができる。</p> <p style="color: red;">2 細胞検査士会総会においては、以下の事項について報告する。</p> <p style="color: red;">1) 事業計画及び予算</p> <p style="color: red;">2) 事業報告及び収支決算</p> <p style="color: red;">3 細胞検査士会総会においては以下の事項について承認を求める。</p> <p style="color: red;">1) 運営に関する重要事項</p> <p>4 細胞検査士会総会は、すべての会員により構成され、会長がこれを招集する。</p> <p>5 議決は出席会員の過半数により成立する。</p>
<p>第6章 会 計 (事業計画・予算書)</p> <p>第 14 条 この会の事業計画及びこれに伴う予算書は、会長が作成し、毎会計年度開始前に役員会で承認後、本法人理事会承認にて成立し、会計年度開始より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p>	<p>第6章 会 計 (事業計画・予算書)</p> <p>第 14 条 この会の事業計画及びこれに伴う予算書は、会長が作成し、毎会計年度開始前に役員会で承認後、本法人理事会承認にて成立し、会計年度開始より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で報告する。</p>
<p>(事業報告・収支決算書)</p> <p>第 15 条 この会の事業報告及び収支決算は会長が作成し、役員会の承認後、本法人理事会承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で承認する。</p>	<p>(事業報告・収支決算書)</p> <p>第 15 条 この会の事業報告及び収支決算は会長が作成し、役員会の承認後、本法人理事会承認を受け、会計年度終了より 3 カ月以内に細胞検査士会総会で報告する。</p>

4号議案：その他

VI. 確認・検討事項

1. その他

VII. その他

日時：第63回日本臨床細胞学会総会春期大会

2022年6月10日（金） 13:40~14:40 現地 & Web 会議

場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 2F 若葉

出席者：【会長】阿部仁，【副会長】澁木康雄，山城篤，【幹事】青木裕志，仲村武，棚田諭，平田哲士，三宅真司，遠藤浩之，松本慎二，加戸伸明，横山俊朗，阿部英二，古田則行，柿沼廣邦，田路英作，伊藤仁，原田仁稔，田口雅子，河村憲一，木下勇一，小林幸弘，小山芳徳，内山勲，佐々木健司，今枝義博，岸本浩次，土田秀，町田知久，南部雅美，藤岡学，有田茂実，長友忠相，宅見智晴，服部学，廣井禎之，藤田勝，中村純子，小材和浩，丸川活司

【監事】石井保吉

欠席者：河原明彦，片山博徳，姫路由香里，鳥居良貴

会の成立：役員45名中41名出席，委任状提出3名で会が成立した。

議長：阿部会長が青木総務委員長を指名した。

議事録作成：棚田諭，中村純子，議事録署名人：阿部仁，石井保吉

I. 開会

II. 会長挨拶

阿部会長より開会の挨拶があった。コロナ感染対策のため，岡本学会長からの現地会議をwebへの変更依頼があり，各委員長と監事のみで現地参加した経緯の報告があった。

臨床細胞学会関連の連絡事項

- 第82回細胞検査士教育セミナー（Web開催）

2022年8月22日～9月5日，一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院原田仁稔実施委員長

- 第84回細胞検査士ワークショップ（現地鏡検実習とWeb講義）

2022年10月1日，2日，帝京大学板橋キャンパス（現地鏡検実習のみ） 国立がん研究センター中央病院澁木康雄実施委員長

- 第85回細胞検査士ワークショップ 現地開催予定で検討中

- 第131回細胞検査士養成講習会 開催中止

- 第55回細胞検査士資格認定試験

1次試験：2022年10月29日（土） CIVI研修センター新大阪東および新大阪丸ビル別館にて実施予定

2次試験：2022年12月3日（土），4日（日）ウインクあいち（愛知県，名古屋市）にて実施予定

- 2023年 IAC 試験 6月24日(土) AP浜松町にて実施予定

今後の日本臨床細胞学会開催および国際学会予定報告

- 第61回日本臨床細胞学会秋期大会(伊藤潔, 宮城仙台サンプラザホテル, ホテル仙台ガーデンパレス) 2022年11月5日(土)~6日(日)
- 第64回日本臨床細胞学会春期大会総会(藤井多久磨, 愛知名古屋国際会議場 2023年6月9日(金)~11日(日))
- 第62回日本臨床細胞学会秋期大会(横山正俊, 福岡国際会議場, 福岡サンパレスあるいはマリノメッセ福岡) 2023年11月4日(土)~11月5日(日)
- 第65回日本臨床細胞学会春期大会(森井英一, 大阪国際会議場) 2024年6月7日(金)~9日(日)
- 第63回日本臨床細胞学会秋期大会(進伸幸, 幕張メッセ(予定)) 2024年11月16日(土)~17日(日)

今年度は、2023-2024年度の細胞検査士会役員選挙、日本臨床細胞学会理事改選がある。現在、日本臨床細胞学会の細胞検査士の理事は3名であるが、細胞検査士会から理事を増やしていく取り組みへの協力に関する報告があった。

Ⅲ. 議事録確認

2021年度第2回細胞検査士会役員会議事録の確認

議事録として成立

Ⅳ. 報告事項

1. 物故会員

物故会員に対する黙祷(阿部会長)

2. 2022年度事業計画及びこれに伴う予算書

3. 2021年度第1回委員長会議

日時: 2022年1月22日(土) 10:00~12:15 場所: Web開催

- 1) 2022年度事業計画及びこれに伴う予算書の確認
- 2) 2021年度細胞検査士会第2回役員会議事録案の確認・修正
- 3) 2023-2024年度細胞検査士会役員選挙実施要綱の検討
- 4) 各都道府県のLove49啓発活動の状況報告
- 5) 細胞検査士会ホームページ内容の見直しを検討

4. 2023-2024年度役員選挙管理委員会

2023-2024年度役員選挙管理委員会を以下の委員で設置した。

委員長 古谷津純一(新渡戸文化短期大学)

- 委員 佐渡正敏 (旭川医科大学病院：北海道地区)
二瓶憲俊 (竹田総合病院：東北地区)
中島弘一 (千葉細胞病理検査センター：関東・甲信越地区)
中島研 (国家公務員共済組合連合会立川病院：東京地区)
米田操 (鈴鹿医療科学大学：中部・東海地区)
林裕司 (滋賀医科大学医学部附属病院：近畿地区)
石田克成 (広島大学病院：中国・四国地区)
田中小夜 (小倉記念病院：九州地区)
新垣善孝 (沖縄県立中部病院：沖縄地区)

選挙管理委員は全員正会員であることを確認した。

5. その他

報告事項の内容に質問および意見がないことを確認した。

V. 議案

1号議案：2021年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 可決・承認

仲村経理委員長より説明

石井監事による確認報告

2号議案：2023-2024年度役員選挙実施要綱 可決・承認

平田総務委員長より説明

前回、選挙人の割り当てとなったことに伴い、選挙人数を選挙人人数に変更
選挙人250名を正会員とする旨を要綱へ記載する。

正会員を対象とする旨の周知については次回検討していく。

VI. 確認・検討事項

1. 2023-2024年度役員選挙実施法について（青木総務委員長）

- 方法として、投票用紙を用いて各都道府県に配布し選挙人による間接選挙（①）、WEB投票を用いた間接選挙（②）、WEB投票を用いた直接選挙すなわち正会員全員によるもの（③）の3つの方法がある。スケジュールとして、①の場合は今回の役員会で可決成立する必要がある、②と③については11月の役員会で可決すれば間に合う。

2号議案の2023-2024年度選挙実施要綱は従来の投票用紙を用いた要綱であり可決された場合は①の方法ですることの意思表示となる。逆に否決された場合は11月の第2回の役員会でWEB選挙を前提とした選挙の方法の決議を行う必要がある。日臨技等でもWEB選挙が取り入れられつつあるが、費用面・WEB選挙を行うための環境を誰が構築するのか・安全な選挙を行ううえで具体的に見えていない部分等もある。阿部会長より、今後要綱の整備も進めながら2年かけ、WEB選挙の管理担当会社もプレゼンを行う等慎重に検討していく意向が示され、今回は紙投票を行うことを確認した。

参考) 日本臨床衛生検査技師会は、WEB 投票は業者委託、費用は 100 万円超

参考) 日本臨床細胞学会は、今回 WEB 選挙は見送り、安全な選挙を行えるよう 2 年かけて準備する方向で進めている。

- 正会員の参加について

公益社団法人 10 周年を迎え、正会員から選ばれた役員で運営することが望ましいが、事前に周知期間を十分にとり、正会員を対象に選挙を行うことを公示しておく必要がある。2022 年 5 月 9 日時点で全都道府県に正会員はいるが、選挙人人数シミュレーションにより、選挙人人数が徳島県と佐賀県で 0 人であることを確認した。

2. 情報委員会内規：Web 会議開催運営について（平田規約委員長）

情報委員会と相談し、議案書に掲載。

3. 日本臨床細胞学会における細胞検査士正会員を増やす方策について（古田あり方委員長）

コロナ禍の中行動が抑止されている状況であるが、正会員のメリットを追求する事が大事である。

4. Love49 事業について（三宅渉外委員会）

2022 年度の LOVE49 活動はすでに始まっているが、昨年と同様にコロナ禍なので、各地域の状況に合わせた無理のない配布活動をお願いしている。

VII. その他

- 正会員の情報共有について（原田幹事）

正会員か準会員かが分からないため、支部代表者に正会員情報を配布して頂きたい。

棚田庶務委員長に連絡すれば各支部代表者には共有できる。

情報共有が個人情報にかからないか確認する。

- 11 月開催の 21th International Congress of Cytology (ICC: 国際細胞学会) について（加戸国際委員長）

2022 年 11 月 15 日～11 月 20 日、米国ボルチモアにて第 21 回国際細胞学会 ICC が開催予定である。中でも、日本の国際委員会が主導して台湾・韓国両国の細胞検査士会を巻き込み、米国の ICC 事務局に提案した企画が採用された。具体的には、細胞検査士の教育制度を取り上げたシンポジウムで、3 か国の現状について比較・討議を行う。シンポジウム開催日は、現地時間 11 月 19 日土曜日午前 8 時～10 時、日本時間の 11 月 19 日午後 10 時～11 月 20 日午前 0 時までの予定である。また、ICC の開催形式について、現地開催のみか WEB を取り入れるか現在協議中とのことであり、情報が入り次第ホームページに掲載する。

VIII. 閉会

日時：第 63 回日本臨床細胞学会総会春期大会 2022 年 6 月 12 日（日）14:30～14:55

場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール 1F 瑞光

参加人数：45 名

議長選出：総会に関する運用細則 第 5 条により，青木総務委員長を議長に選任

議事録作成：棚田諭，中島研

議事録署名人：柿沼廣邦，遠藤浩之

I. 開会

II. 会長挨拶

阿部会長より開会の挨拶があった。今年度は，2023-2024 年度の細胞検査士会役員選挙，日本臨床細胞学会理事改選がある。現在，日本臨床細胞学会の細胞検査士の理事は 3 名であるが，伊藤前会長からの取り組みである細胞検査士の正会員を増やし，細胞検査士会から理事を増やしていく取り組みへの協力に関する報告があった。

連絡事項

日本臨床細胞学会事業計画

- ・第 82 回細胞検査士教育セミナー（Web 開催）

2022 年 8 月 22 日～9 月 5 日

一般財団法人慈山会医学研究所附属坪井病院 原田仁稔実施委員長

- ・第 84 回細胞検査士ワークショップ（現地鏡検実習と Web 講義）

2022 年 10 月 1 日，2 日，帝京大学板橋キャンパス（現地鏡検実習のみ）

国立がん研究センター中央病院 澁木康雄実施委員長

- ・第 85 回細胞検査士ワークショップ 現地開催予定で検討中

- ・第 131 回細胞検査士養成講習会 開催中止

- ・第 55 回細胞検査士資格認定試験

1 次試験：2022 年 10 月 29 日（土）CIVI 研修センター新大阪東及び新大阪丸ビル別館にて実施予定

2 次試験：2022 年 12 月 3 日（土），4 日（日）ウインクあいち（愛知県，名古屋市）にて実施予定

- ・2023 年 IAC 試験：6 月 24 日（土）AP 浜松町にて実施予定

- ・今後の日本臨床細胞学会開催予定報告（日本臨床細胞学会 HP 参照）

細胞検査士会事業計画

- ・細胞検査士生涯教育ワークショップを実施予定（学術委員会）

- ・細胞検査士養成ワークショップ（関東・関西）を実施予定（精度保証委員会）

Ⅲ. 報告事項

1. 物故会員

富山良紀 殿 CT 0145

角田耕造 殿 CT 1126

山本倫子 殿 CT 3110

武田由美子 殿 CT 4902

藤井千登勢 殿 CT 8259

出席者全員で黙祷を捧げた。

2. 2023-2024 年度役員選挙について

- ① 2023-2024 年度役員選挙管理委員会を設置した。
- ② 選挙公示を 2022 年 9 月までに行う。
- ③ 各都道府県細胞検査士会より選出された選挙人による幹事の選出を 2022 年 10 月に実施する。
- ④ 新たに選出された幹事による会長及び副会長の選出を 2023 年 2 月までに実施する予定である。

Ⅳ. 議案審議結果

1 号議案：2021 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 承認・可決

議案説明：仲村経理委員長

監査報告：石井監事

2 号議案：2022 年度事業計画及びこれに伴う予算書 承認・可決

議案説明：仲村経理委員長

Ⅴ. 閉会

2022年10月28日

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会
委員長 古谷津 純一

資料3

2023-2024年度細胞検査士会役員選挙において、登録された選挙人（投票者）をお知らせいたします。

北海道	藤岡 学	森谷 純	徳永 祐一	安孫子 光春	小松 健一郎	椎名 真一
青森県	齋島 敦志	中島 洋平	今川 誠	北澤 竜馬		
岩手県	山田 範幸					
秋田県	伊藤 智	浅利 智幸				
山形県	飛塚 潔	鈴木 俊紀				
宮城県	戸村 弘樹	植木 美幸	三浦 弘守			
福島県	原田 仁稔	緑川 真一	佐藤 陽子			
茨城県	小松 京子	村田 佳彦	内田 好明	三村 貴裕	石黒 和也	
栃木県						
群馬県	深代 やす子	樋口 由美子	今泉 智博	須藤 健治		
千葉県	安達 純世	小野寺 清隆	加瀬 大輔	北村 真	小山 芳徳	須藤 一久
	諏訪 朋子	高橋 司	田中 雅美	飛田 和秀	中村 博	平田 哲士
	三橋 涼子					
埼玉県	河村 憲一	扇田 智彦	加藤 智美	金守 彰	川嶋 活彦	河野 哲也
	山崎 泰樹	藤沢 美穂				
東京都	稲垣 敦史	外山 志帆	中島 研	佐々木 陽介	忽滑谷 昌平	田邊 一成
	河村 淳平	藤木 康雄	三宅 真司	岸本 浩次	石井 脩平	五十嵐 清子
	若槻 よしえ	藤田 大貴	福原 明	山本 善也	野村 希	阿部 仁
	藤山 淳三	岡 俊郎	青木 裕志	町田 知久	藪下 竜司	浅見 英一
	宅見 智晴	池畑 浩一	稲垣 真智子	伊藤 崇彦	向山 淳児	中谷 久美
	渡具知 克	鈴木 美那子	山田 麻里沙	山崎 奈緒子	古田 則行	笹井 伸哉
	葉山 綾子	和泉 智子	渡部 顕章	時田 和也	石田 さくら	小林 佳子
神奈川県	今井 宏樹	加戸 伸明	草刈 宏有	生澤 竜	川井 麻衣子	伊藤 仁
	仲村 武	磯崎 勝	三田 和博	島田 直樹	高瀬 草子	阿部 直也
	福村 大祐	湯澤 和彦	西尾 由紀子	坂口 忍	小山田 裕行	林 衛
濱村 尚也	森下 明博					
山梨県	磯野 満					
長野県	小林 幸弘	西尾 昌晃	佐藤 憲俊			
静岡県	石堂 統	渡邊 広明	石川 直史			
新潟県	姫路 由香里	遠藤 浩之	須貝 美佳	畔上 公子	花野 佑輔	
富山県	石倉 宗浩	寺井 孝				
石川県	石山 進	尾崎 聡				
福井県	水野 幸恵	中田 章栄				
岐阜県						
愛知県	南谷 健吾	田中 浩一	杉山 宗平	和田 栄里子	塩竈 和也	柚木 浩良
三重県	大隈 潤子	山田 真美子	藤田 智洋			
滋賀県	今野 和治	松田 知世	金山 和樹			
京都府	岩井 宗男	田口 一也	山内 盛正			
大阪府	江口 光徳	白波瀬 浩幸	山口 直則	矢野 由佳	加藤 順子	
	三村 明弘	田路 英作	小椋 聖子	菅原 敦子	内山 勲	横田 裕香
	岡本 秀雄	棚田 諭	青木 弘	田口 雅子	長友 忠相	富宇加 麻里
羽島 暢晃						
兵庫県	真田 浩一	塚本 龍子	上岡 英樹	川嶋 雅也	駒井 隆夫	山下 展弘
	川村 道広	鳥居 良貴				
奈良県	西浦 宏和					
和歌山県	田中 真理					
鳥取県	山村 章次	遠藤 香	入江 愛子			
島根県	荒木 剛	松原 真奈美				
岡山県	佐藤 正和	森 康宏	有安 早苗	原田 美香	山口 大介	藤田 勝
	高田 由貴					
広島県	神田 真規	大上 由加里	尾田 三世	荻野 恭平	宮田 直樹	羽原 利幸
	森 智紀	川西 なみ紀	東田 美加			
山口県	清水 勇輝	仲 徹	岡田 宏之	田中 智義	渋田 秀美	
徳島県	近藤 桂子					
香川県						
愛媛県	佐伯 勇輔	佐伯 健二				
高知県	中村 秀治	小原 昌彦				
福岡県	松本 慎二	角谷 優子	関本 哉恵	松下 敦子	碓 益代	小材 和浩
	内田 準	佐藤 真介	宮崎 浩子	寺戸 信芳	西山 純司	迫村 竜巳
	安部 拓也	河原 明彦	安倍 秀幸	野上 美和子	大久保 文彦	山口 知彦
	仲 正喜	古賀 隆	阿部 英二			
佐賀県	永石 信二	北島 理恵	中村 光男	※1名に調整中、調整後に更新予定。		
長崎県	松田 勝也	田中 圭				
熊本県	立山 敏広	境 一	井上 博幸	石原 光浩	田上 圭二	
大分県	丸田 淳子	平丸 正宣	井川 功二			
宮崎県	野口 裕史	花牟禮 富美雄	野口 裕史			
鹿児島県	南新 洋美	江藤 裕哉				
沖縄県	山城 篤	新垣 善孝				

2022年10月28日

選挙管理委員会からのお知らせ

選挙管理委員会
委員長 古谷津 純一

2023-2024年度細胞検査士会役員選挙における役員(幹事)が決定したのでお知らせいたします。

役員(幹事)候補者申請は29名であり、全員が登録されました。2023-2024年度役員選挙実施要綱による選出定数は30-40名であり、選挙管理委員会で協議の結果、登録した役員(幹事)候補者全員を無投票当選としました。

青木 裕志	阿部 英二	阿部 仁	石原 光浩	伊藤 仁	内山 勲
遠藤 浩之	大澤 幸希光	柿沼 廣邦	加戸 伸明	河原 明彦	河村 憲一
岸本 浩次	木下 勇一	小山 芳徳	佐々木 健司	佐藤 憲俊	澁木 康雄
田口 雅子	棚田 諭	仲村 武	平田 哲士	藤岡 学	古田 則行
町田 知久	松本 慎二	三宅 真司	山城 篤	横山 俊朗	